# 私のTC人生のこれから

安部歯科医院

川島千夏

【はじめに】

以前からTCという職種があるのは知っていたが、どのように介入したらよいのかどうやってカウンセリングすればいいのか何が正解で間違いなのか分からず日々悩んでいたところ、月に一度私の勤務している歯科医院に指導に来てくださっているフリーランスの渡邊喜怒香先生にご相談したら「本気で学びたいと思っているなら本物のTCから学びなさい。ここ以外、本物のTCを学べるところはない」と勧めてくれたのがこの鈴木誓子先生が代表を務めるTCマスターカレッジだった。

当初は10月開講の東京校に申し込むつもりでいたが、決断してから半年以上も開催を待つというのは早く学びたいという気持ちから自分の中で葛藤があり、院長を説得しマスターカレッジの事務局に、４月開講の大阪校にどうしても受講したい旨を伝えたら、なんとか１席確保していただき受講させていただけることになった。本当に感謝しかありません。

静岡から大阪と決して近くはない距離だったが、それ以上にこのマスターカレッジでの学びは私にとって価値あるものになった。

【TCスクールを受講して今後の私に何ができるか】

今回受講する前の私は「自費治療を説明してしまうと売り上げ目的と言われてしまうのではないか」「自費治療は高いから勧めにくいな」と自分自身がそう思いながらカウンセリングに入っていた。そんな気持ちで説明しているので、患者さんに伝わっているのかどうか、最終的にどうなりたいのかが分からない、全然患者さんに寄り添えてないということもあり、もちろん上手くいくはずがなかった。

しかし今回受講してからその考えは間違っていたことに気づくことができた。患者さんの思いや希望を聞かず、説明せずに勝手にこちらが患者さんを判断して治療をすすめるということはとても失礼なことだ。また、自費治療が高いか安いかを判断するのは私たちではなく患者さんである。私たちはきちんと責任を持って保険診療と自費治療のメリットとデメリットをお伝えする。それは、ただの売り上げ目的ではない。ご自身の大切な歯ですから長く保つもの、身体に優しいものを説明し理解していただくこともTC業務をする上で必要不可欠だと知ることになった。

そして患者さんが保険でも自費でもどちらを選んだとしても、私たちTCは患者さんに寄り添って最後までサポートしていくことが1番大事なことでもあるので、それをこの先のTC人生においても忘れることなく意識していくようにしたい。

【日本の歯科医療におけるTCの役割】

「美味しく食事ができることは幸せな生活につながります」私が勤めている医院の院長がよく言う言葉である。では、美味しく食事をするために私たちができることは何か？

それは生涯を考えた的確な診断とそれに見合った必要な治療、そして生涯にわたって歯を守るメンテナンスを提供していくことだと感じている。

DrやDHが患者さんに医療を提供するのはどこの歯科医院でもごく普通のことだが、ではTCはどうでしょうか。残念ながらまだこの日本では、どこの歯科医院にもTCが存在するわけではない。治療の説明や各コンサル、困ったことや治療の相談や心配事を患者さんがしたい時、聞きたい時、そこにTCがいなければ患者さんの期待や満足度は上がらない。また、治療に対してもご自身の歯に対しても興味がなくなり、治療に不信感などを抱えながら来院することになる。これはすごく残念なことだ。歯医者に来る方は、必ず何かをしてもらいたいと思って来院している。そこでどれだけ患者さんが求めているものを提供できるのかというのはすごく大事になってくると考える。

歯医者は治療やメンテナンスをするところでもあるが、自分自身のお口の中の現状をしっかり理解していただき、なぜメンテナンスが必要なのか、どうして虫歯になったのか、どういう治療があるのかというのを必ず全員に知ってもらうべきだと思う。

患者さん一人一人がそれらをきちんと説明され、知ることだけでも日本人の歯に対しての意識や考え方が変わってくると考え、また、それと合わせて予防の重要性の認識にもつながってくると思う。

患者さんのデンタルIQを高めることは、その患者さんにとっても医院にとってもプラスになるだろう。

「何の治療をされているのかわからない」「わからないから全てお任せします」とおっしゃる患者さんがいるのは、やはり言わずとも気持ちを汲み取ってほしい、気になるけど先生に聞きにくいなと躊躇するといった日本人ならではの考え方であるとも思う。

よくわからないままや、お任せするのではなく、しっかり自分のこととして受け止めていただき、患者さんの自発的な思いを聞きだして医院と患者さんの良好な関係を築きあげる役目がTCであると私は考える。

【理想のTC像】

まだ当院には、TCの仕組みが確立されていない。カウンセリングルームもこれから設立予定だ。ですので当院にとってTCを導入して実践していくことは医院にとっても私自身にとっても挑戦になる。

もちろん最初は沢山の壁にぶつかるだろう。上手くいかなくて悩むこともあると思う。しかし数ある歯科医院の中から当院を選んで来てくださった全ての患者さんに寄り添い、見守り、安心を提供できるTCを私は目指したい。

また、後輩スタッフが私のようになりたいと思って、一緒にTCの業務を取り組めるような環境にもこれからしていかなければならない。そのためにも、今ある知識

や経験を生かしながらこれからも勉強を続けて的確な説明と患者さんに寄り添ったカウンセリングをし、信頼されるTCになれるよう成長し続けたい。

【最後に】

私は二人の子どもがいる母でもあります。まだ下の子が未就学児というのもあり、休日に勉強をしに行くことは最後まで迷いました。

しかし私は家族にも院長にも、自分にとってこのマスターカレッジでの学びが今必要であることを話し、説得しました。

今やらなければ、学ばなければ絶対後悔する。振り返ると、私はいつもそのように思っていたと思います。何かを犠牲にしなければならないこともあります。ですが、人生は一度きりです。誰のでもない、自分の人生です。「何かに挑戦してみたい！」と思うことは、人生においてそう沢山あるものではありません。

この歯科業界は、女性が活躍出来る職業でもあります。資格がない歯科助手であっても、いくらでも医院の戦力になれます。学びたい、挑戦したいと思った時がその時でチャンスなのです。いつからでも遅くはありません。

働く女性はかっこいいです。生き生きしてて輝いています。一人でも多くの女性が活躍出来る、【TC】はそれが叶います。このマスターカレッジでは、そのような経験をし、輝き続けてる女性たちばかりだと思います。私もそのうちの一人になろうとしています。

同じく歯科業界で働いている女性たちも自ら挑戦し、生き生きと仕事をし、輝けるような世の中になっていって欲しいと思います。

【２８２６字】